



# 「チャイルドボランティア チャボ！」

若林区中央市民センター

## 1 事業概要

子どもたちに地域でのボランティア活動の機会をつくる事業です。子ども自身が「地域のためにできること」を企画・実施することで、自分の存在の大切さを実感するとともに、将来、社会・地域にその一員として積極的に関わることができるようにしていくことをねらいとしています。対象は当センター近隣の小学4年生から中学生の児童生徒です。地域の団体や施設などの協力を得て、子どもでもできるボランティア活動を考え実施しています。今年度の登録は33名です。



## 2 令和4年度の活動

(月1~2回程度集まり、自分たちが考えたボランティア活動を実施)

- ・地域NPO法人が高齢者に宅配する弁当に添える手紙書き(毎月1回)
- ・畑の管理(若林区中央市民センター敷地内にある畑における苗植えや草取り)
- ・育樹活動(海岸公園冒険広場)
- ・ニュースポーツ(ボッチャ・モルック)体験会
- ・大学生(若者事業)が考える「荒町ゆうゆうフェスティバル」の運営補助
- ・若林区中央市民センター「学習発表フェスタ」司会進行・活動発表
- ・若者事業・ジュニアリーダー・チャボ!合同実践研修会(デイキャンプ)
- ・地域清掃(ゴミ拾い, 落ち葉拾い等)
- ・弁当配達体験
- ・成果報告会・活動発表



## 3 成果と課題

- 弁当に添える手紙は、高齢者の方も楽しみにしています。中には返信をくださる方もいらっしゃり、参加者の励みになっています。
- ボランティア活動に加え、畑での農業体験、ニュースポーツ体験、デイキャンプ体験など、多様な経験を積む機会を提供できました。
- 畑活動において、大学生・高校生(若者事業)との共同作業を意図的に組んだ結果、より意欲を持って活動に取り組む参加者が多く見られました。中には、「憧れのお兄さん・お姉さん」ができた参加者もいました。
- 参加児童生徒の在籍校の校長先生からも「学校を離れた場所で、気軽にボランティアができる機会が提供されることは、子どもたちにとって非常に有意義である」という評価を得ています。
- 徒歩・自転車または保護者送迎を基本としており、小学生は安全面を考慮してバイパスより東側の学区に対して募集を行っていません。平等性の観点もあるため、今後の募集の在り方を検討します。

## 4 今後の展望

子どもたちならではの柔軟な考え方や発想を大切にしながら、これからも子どもにもできるボランティア活動を企画・実施していきたいと思えます。

